

トピックス

- ★ 第9回講義：就活成功への心得と実践
- ★ 第2回ワークショップ：持続可能な社会を目指して
- ★ ポストドクター・キャリア開発事業シンポジウム

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第9回高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第4弾！

平成26年12月18日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス白鷹館2F

詳細はHPで

「就活成功への心得と実践」 塩谷和美 特任教授（キャリア開発室） ～ 不作為の後悔をしない為の具体的な行動を学ぶ ～

冒頭で、「就活の3か月後ろ倒しが進められているが、実際は昨年と同じスケジュールで進んでいる」と述べて、本日の講義が始まりました。

✿ 就活は計画的に進めて正社員を目指してほしい

自己理解が十分でないと、就活で躓くことになる。また、焦って決めると入社してからミスマッチとなることもある。安易に非正規雇用になっても、なかなか重要な仕事に就けず、自己成長する機会も得られない。

✿ ここで、『海洋大で何を学び、何を得たか』を1分間で考えて話し合う演習が行われました。

面接では、自分のことについて語れるように準備しておくこと。そして『自分ならではのもの』をしっかり持って、『素』で臨むことが大事だ。

✿ 良い会社とは働き甲斐のある会社

従業員と経営陣との間に信頼関係があり、個人のライフイベントにも配慮して成長する機会を与えてくれる会社が良い。また、中堅企業であれば、一人で色々なことを任せてもらえる利点がある。

✿ チャンスは自分から掴み取るもの！

企業は、その会社に相応しい人間性かどうかを判断する。『就職四季報』や『業界地図』を活用し、OB・OGを訪問する等して、積極的に情報を取りに行く姿勢が大事だ。



● ポストドクター・キャリア開発事業シンポジウム

✿ 今年も、文科省が主催するシンポジウムが平成27年1月9日に開催され、大勢の大学関係者や企業の方々に参加されていました。

『博士人材が企業で活躍するための要諦と課題』と題した基調講演と話題提供や、『期待する博士人材を受け入れるために』についてのパネルディスカッションがおこなわれました。



博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリア開発プログラム

キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから入手できます。<http://www.kaiyodaicareer.com/>

● 第10回高度専門キャリア形成論 + ワークショップ + 懇談会

『持続可能な社会を目指して』

詳細はHPで

平成27年1月29日(木) 16:20~19:00 於 品川キャンパス白鷹館2F

～ トップから事業の今後の展開やご自身のキャリア ～

いであ株式会社 代表取締役社長 細田 昌広 氏

✿ 社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

東京水産大学の大学院を修了後、民間で初めて天気情報を提供した新日本気象海洋(株)(現 いであ社)に入社した。いであ(IDEA)の社名は、4つのビジネスターゲットを表現している。

入社後は、主に数値シミュレーションによる海域の流動予測や水質拡散予測等の環境アセスメント事業に従事した。どの仕事も複雑で難しく、現地調査や実験等の繰り返しに長い時間が掛かり大変だった。

✿ いであ社は技術開発と技術者育成に注力

技術開発は重要で、いであ社には研究所が4つある。

また、技術力で勝負するには、資格を持つ管理技術者が必須となる。会社としても技術士等の有資格者の育成には力を入れている。

いであ社は、資格取得に意欲的で、語学力があり、海外事業にもチャレンジする意欲がある人材を求めている。「これしかできない」ではなく、専門以外にもチャレンジできることが必要だ。

皆さんの研究で、社会が少しでも良くなることを期待している。



～ 着任後の仕事や今後の抱負 ～

いであ株式会社 水環境解析部 研究員 王 琦 氏 博士(海洋科学)

✿ インターンシップ先に就職後の仕事

2年前に、長期インターンシップの研修先である、いであ社に入社した。現在は、研修時と同じ水環境解析部に所属し、主に沿海域の観測データの解析と伊勢湾のシミュレーションの仕事に従事している。

名古屋港の新土砂処分場の建設に際して、漁業にどのような影響を及ぼすかを評価するためにモデルを作った。様々な項目でシミュレーション結果と実際の観測値との比較を繰り返し、信頼性を高める努力を日々続けている。

✿ 将来は海外でも活躍する女性研究者に

今後は、色々な業務を経験して、様々な知識や技術を身に付けていきたい。できれば、国内だけでなく海外でも活躍できる女性技術者を目指していきたい。

私達の仕事に興味を持った方は、是非いであ社に来て欲しい。そして、一緒に頑張っていきたい。

